

下記URLまたはFAXでお申し込みください

www.jmac.co.jp/seminar/open/

FAX:03-5219-8068

参加料 32,400円(資料・昼食・交流会・消費税込み)

定員 300名(お申込み順)

▶参加申込方法

- 参加希望の方は、インターネットもしくは下記申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。
- お申込み順にて受付、後日参加証・請求書をお送りします。

▶ご注意

- 各セッションとも定員になり次第締切とさせていただきます。
- FAXでのお申込みは、開催日の3日前まで受付いたします。
- 同業者はお断りする場合がございます。
- 諸事情により開催を中止させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- ご案内のご送付先変更・中止などのご希望の方は、お手数ですがご希望内容記載の上、メール、FAXにて本大会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

▶お支払いについて

- 参加料は請求書到着後1週間以内に請求書の銀行口座へお振込ください(振り込み手数料は貴社でご負担願います)。

▶キャンセル規定

- 参加者のご都合が悪い場合は、代理の方の出席をお願いいたします。
- 代理の方もご都合が悪い場合は開催日の前々日(土/日/祝日を除く)までに以下問い合わせ先までご連絡ください。
- 開催日の前々日(土/日/祝日を除く)までに参加者ご本人や代理出席の方の欠席のご連絡をいただきました場合のみ、入金確認後、振り込み手数料を差し引いた残額を返金させていただきます。
- 開催日前日(土/日/祝日を除く)や開催当日に欠席のご連絡をいただきました場合は、ご返金できませんので予めご了承ください。

第21回 開発・技術マネジメント革新大会 申込書 FAX:03-5219-8068

▶参加証・請求書のご送付方法はどちらを希望されますか。 E-Mail 希望 ※ PDF 形式のファイルとなります。 郵送希望

貴社名 事業所名	フリガナ	業種	1. 食料品	2. 繊維製品	3. ハルビ・紙	4. 化学
			5. 医療品	6. 石油・石炭製品	7. ゴム・窯業	8. 鉄鋼・非鉄金属・金属製品
住所	フリガナ		9. 機械	10. 電気機器	11. 輸送用機器	12. 精密機器
	〒		13. その他製造業	14. 電気・ガス業	15. 運輸・通信業	16. 卸売業
			17. 小売業	18. 金融・保険業	19. 建設・不動産業	20. サービス業
			21. 公共	22. その他		

申込者 ※	氏名	フリガナ	部署名/ 役職名	A	B	C		
	TEL						<input type="checkbox"/> 参加する	<input type="checkbox"/> 参加しない
	E-mail							

参加者 ①	氏名	フリガナ	部署名/ 役職名	A	B	C		
	TEL							
	E-mail							

参加者 ②	氏名	フリガナ	部署名/ 役職名	A	B	C		
	TEL							
	E-mail							

参加者 ③	氏名	フリガナ	部署名/ 役職名	A	B	C		
	TEL							
	E-mail							

備考						
----	--	--	--	--	--	--

※印の方宛てに参加証・請求書をまとめてご送付します。(不都合がある場合は、備考欄にご記入ください。)

本個人情報、弊社事業活動におけるセミナー、イベント、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。
 弊社は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供は行いません。
 本情報の訂正、削除などをご希望される場合には、問い合わせ先「第21回 開発・技術マネジメント革新大会事務局」までご連絡ください。

問い合わせ先 株式会社日本能率協会コンサルティング 第21回 開発・技術マネジメント革新大会事務局
 TEL: 03-5219-8054 FAX: 03-5219-8068 E-mail: event_consult@jmac.co.jp

第21回

開発・技術
マネジメント革新大会



進化しつづけるRD&Eマネジメント
～変わらないスピリットと絶えまないイノベーションへの挑戦～

研究・開発に携わる皆様におかれましては、先の読みにくい事業環境の下、企業の持続的成長や価値創造に向けて日々取り組まれていることと存じます。
 本年は「進化しつづけるRD&Eマネジメント ～変わらないスピリットと絶えまないイノベーションへの挑戦～」を基本コンセプトとし、「創業精神」、「R&Dの信念」といったマネジメントの価値観や基軸を大切にしつつ、イノベーションに果敢に挑戦していらっしゃる方々に講演いただきます。
 分科会セッションでは「オープンイノベーションによる新事業創出を語る」、「日本型価値創造プロセスを語る」、「専門家集団のマネジメントを語る」といったテーマについて、事例発表を踏まえ、ご参加の方々と意見交換、学び合いの場にしたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日 2017年6月15日[木] 時間 9:45～19:00(受付9:15～)

会場 東京コンファレンスセンター・品川 主催 株式会社日本能率協会コンサルティング

09:45 ▶ 09:55	開催にあたり
09:55 ▶ 11:10	基調講演 勇気ある新規事業創出への挑戦こそが企業を活性化する ～サントリーグループの新規事業創出への挑戦～
11:25 ▶ 12:30	特別講演1 未来を開くクリエイティビティとは ～これからの100年をデザインする～
13:15 ▶ 14:15	特別講演2 イノベーションのこころ
14:30 ▶ 17:30	Aセッション オープンイノベーションによる新事業創出を語る
	Bセッション 日本型価値創造プロセスを語る
	Cセッション 専門家集団のマネジメントを語る
17:45 ▶ 19:00	参加者交流会



共通セッション [9:55~14:15] ※講演時間および内容は変更の可能性があります。

**基調講演 勇気ある新規事業創出への挑戦こそが企業を活性化する
~サントリーグループの新規事業創出への挑戦~**

サントリー食品インターナショナル株式会社 取締役副社長 **辻村 英雄** 氏



サントリーグループは、今年で創立118年を迎えます。1899年の創業以来、当社は“やってみなはれ”精神の下、様々な新規事業への挑戦を実践してきました。国産ウイスキー事業、ビール事業、飲料事業、花事業、健康食品事業と新規事業創出への挑戦を繰り返し、さらにはここ数年で、グローバル化を一気に加速してきました。現在、グループの連結売上高も2.5兆円を超え、さらなるグローバル企業を目指して“Growing for Good”をビジョンに設定して取り組んでいます。

講演では、当社の新規事業への挑戦の歴史を振り返るとともに、特にR&D発の新規事業創出について具体的事例をもとに考察し、その成功の要因をご紹介します。また、研究・技術開発のリーダーとしての想いについてもお話いたします。

【略歴】

- 1980年 京都大学工学部修士課程終了後、サントリー株式会社入社
- 1995年 岐阜大学連合大学院 農学博士取得。健康食品開発部長、食品研究所長を経て、
- 2004年 取締役就任 食品商品開発研究所長就任。R&D推進部長、健康科学センター・知的財産部担当を経て、
- 2008年 常務取締役就任
- 2011年 サントリービジネスエキスパート(株) 専務取締役 技術開発本部長を経て
- 2015年 サントリーホールディングス(株) 専務取締役 知的財産部・R&D部門担当 サントリービジネスエキスパート(株) 代表取締役社長 就任
- 2017年 4月より、サントリー食品インターナショナル(株) 取締役副社長 MONOZUKURI本部長 R&D部長 現在に至る

特別講演 1 未来を開くクリエイティビティとは ~これからの100年をデザインする~

工業デザイナー / KEN OKUYAMA DESIGN 代表 **奥山 清行** 氏



日本はものづくりの精神、独自の感性、果敢なる技術開発は世界に誇れるものがあります。ビジネスの主戦場としてはもちろん、ものづくりの現場や従業員もグローバルに広がる中、いかに強みを発揮し、新しい価値や産業の創出につなげていくか。

デザインを通して世界と日本を見てきたなかから、日本企業の強みと課題、可能性について考察いたします。また、産業界の未来を担うR&Dのみなさんへの期待をお伝えいたします。

【略歴】

- 1959年 山形市生まれ ゼネラルモーターズ社(米) チーフデザイナー、ボルシェ社(独) シニアデザイナー、ピニンファリーナ社(伊) デザインディレクター、アートセンターカレッジオブデザイン(米) 工業デザイン学部長を歴任
- 2007年より、KEN OKUYAMA DESIGN 代表
- 2013年 ヤンマーホールディングス株式会社取締役役に就任

特別講演 2 イノベーションのこころ

株式会社 NejiLaw 代表取締役社長 **道脇 裕** 氏



持続的にイノベーションを起こす上で最も大切なこと、それを皆さまにお伝えしたい。

【略歴】

1977年 群馬県生まれ。10歳の時、学校教育に疑問を抱き、小学校を休学。新聞配達等をする傍ら、大学の物理学教授であった母親の研究室で実験や電子工作に熱中。中学・高校もまともに行かず、漁師やとび職等を経験。その後、米国に留学するが、わずか5日でドロップアウト。1996年、Next Innovationを創設し、「発明や革新を受注・推進する業務」に従事。その発明のうち、緩むことのない「L / Rネジ」を規格化、実用化するため、2009年に株式会社NejiLawを設立。「L / Rネジ」は国内外で高く評価され、数多くの賞を受賞。2017年、Micro Innovation財団を創設、理事長に就任。

午後 セッション [14:30~17:30] 3セッションから一つお選び頂き、お申込みください。

A セッション オープンイノベーションによる新事業創出を語る

【講演】 14:30~16:30 **【意見交換会】 16:50~17:30**

事例発表を受け、「オープンイノベーションによる新事業創出」をテーマに、グループに分かれ、各参加者が所属する企業の課題や取り組み内容などについて、相互に紹介し合います。

オープンイノベーションの類型と新事業企画の要諦

株式会社日本能率協会コンサルティング
チーフ・コンサルタント 小田原 英輝

オープンイノベーションは手段であり、目的を押さえた取組みを展開することが重要です。本講演では、企業が取り組んでいるオープンイノベーションのパターンを概観しながら、社外の有望技術を起点で新事業を企画する取組みのポイントについて紹介します。

アウトサイドイン型オープン・イノベーションの実践

大阪ガス株式会社
技術戦略部 オープンイノベーション室
室長 樋口 裕忠 氏

社内外のリソースを柔軟に絡めることで、新しい商品やサービスを作り出すオープン・イノベーションが注目を浴びています。大阪ガスは、早期から取り組みその実績を上げてきています。ここでは、アウトサイドイン型オープン・イノベーションについて紹介します。

先端技術商業化の新たな枠組み構築

先端技術商業化アクセラレーター合同会社
パートナー 中野 譲 博士(理学)

先端技術商業化アクセラレーター合同会社(略称: ACAT: Accelerator for Commercialization of Advanced Technology)は先端技術の商業化を支援しています。ベンチャーのスキームとアントレプレナー/イントラプレナー育成により、イノベーションを加速する取組みについて紹介します。

BtoC 商品企画におけるオープンイノベーションの実践

小林製薬株式会社 製品開発・マーケティング統括本部
中央研究所 研究推進部 部長 川西 貴 氏

小林製薬はこれまで社外パートナーとの共同検討をしながら、数々の新商品を世に出してきました。今回は、新商品企画やスピーディな開発業務の遂行のための協創といった小林製薬が取り組んできたオープン・イノベーションについて紹介します。

B セッション 日本型価値創造プロセスを語る

【講演】 14:30~16:00 **【グループディスカッション】 16:00~17:30**

事例発表を受け、ご参加の皆様とのグループディスカッションを行い、悩み事や取り組みのヒントなどの交流を図ります。討議テーマ例(技術ロードマップ構築・浸透、新事業・新商品企画、コンカレント・エンジニアリング、プロジェクトマネジメント、顧客リレーションシップ等)

**研究開発 / 全事業部ロードマップの全社浸透による
横断的開発体制の構築と実践事例**

村田機械株式会社 研究開発本部 全社開発推進
シニアエキスパート (元 技術開発センター所長) 中尾 敬史 氏

ムラテックでは10年前に手探りで「ロードマップ」の議論を始め、試行錯誤を続けながら導入を進めてきました。現在では「ロードマップ」は、部門の開発戦略に必須だけでなく、R&D/全事業部間のテーマ確認には必要不可欠な存在となりました。また「ロードマップ」だけでなく、開発の武器である「コア技術戦略」、最適なプロセス管理である「ステージゲート」が相互に作用する事で全社横断的開発マネジメントが機能すると考えています。今回はこの様なムラテックにおけるMOTを活用した開発の仕組みと実践事例をご紹介します。



C セッション 専門家集団のマネジメントを語る

【講演】 14:30~16:50 **【パネルディスカッション】 16:50~17:30**

各社・各事業の専門家集団のマネジメント上の課題と取り組みなどをご紹介します。パネリスト同士やご参加の皆様との意見交換を行います。

**クリエイター集団における
効率化への挑戦**

株式会社ポリゴン・ピクチュアズ
取締役副社長 安宅 洋一 氏

「組織や規律を嫌う我儘な人種」と思われがちなクリエイター達自らが、製造業から学んだ効率化の考え方・方法論をアニメーション制作プロセスや管理体制に導入し、「クリエイティビティと高生産性の両立」を実現。世界で戦えるスタジオへと成長したその過程とそこで得た教訓等をご紹介します。

**多様な人材のモチベーションを
高めるチームマネジメント**

株式会社ジェイテクト
研究開発本部 加工技術研究部
室長 山田 良彦 氏

異なる専門技術、様々な個性をもつメンバーの多様性を認め、モチベーションを高めるマネジメントに注力してきました。日々の地道な工夫や仕掛けに対するメンバーの変化・成果の事例をおとて、当たり前のことを着実に取り組む重要性やチームワークの秘訣をご紹介します。

**多様な技術融合のしかけと
新事業創造**

サッポロホールディングス株式会社
グループ R&D 本部 グループ技術知財戦略
グループリーダー 小林 直之 氏

10年後に150周年を迎えるにあたり、「酒」「食」「飲」の3分野で個性かがやくブランドカンパニーを目指すという長期ビジョンを掲げました。未来へ繋がる新しい価値創造の為にグループ総力を挙げて取り組んでおります。企業統合後の取り組みのポイントや難しさなどについてご紹介します。